



小学校長は「大学として社会貢献がより強く求められる中、特に子どもたちへの支援についてはこれまで十分に取り組めていなかった。今回の連携協定の締結は大きな前進であり、地域の子どもたちへの支援を強化するための重要な一步となる」といさつ、続いて福田教育長が「志布志市では、未来を担う子どもたちの育成を重要課題として積極的に取り組んでいる。鹿屋体育大学との連携により、子どもたちの夢や地域の教育の可能性が広がることを期待して

また5月25日には連携協定の締結を記念し、志布志運動公園人芝サッカーフィールドでサッカーコーチによる指導を受けた。志布志市を中心としたサッカーチーム、計45名の小学生が参加。鹿屋体育大学サッカーチームT.O.P.の塩川勝行監督、村川大輔コーチ、そして選手9名が指導にあたりました。

クリニシングではバスやシヨウト、守備の多彩なメニューが実施され、最後に志布市出身の石崎祥磨さん（スポーツ合課程3年、日吉学園高等学校・宮崎、鹿児島）から子どもたちに激励のメッセージが送られました。地図と天体との連携で深めることも、次世代の育成を目指す貴重な機会となりました。

大學職員として勤務をす
始めて20年が経ち、その
大半を会計業務に携わつて
まいりました。これまで
で培つてきた知識と経験
を生かし、本学の教育・
研究活動の円滑な運営に
貢献できるよう努めてま
ります。

新たな環境の中で、学
び直す姿勢を忘れず、学
生や教職員の皆様とともに
に歩んでいければと考え
ております。

今後ともご指導・ご鞭
撻のほど、何卒よろしく
お願い申し上げます。

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る
SUGO HAKU  
【厚盛デジタル加飾システム】 **-KIRAMEKI-** 
× 視覚と触覚で
感じる 

ヒューマン印刷に倣する
株式会社新生社印刷 鹿児島県鹿屋市札元1丁目22-34
☎0994-43-2238
URL <http://www.shinssei.co.jp> E-MAIL ken@shinssei.co.jp

記念イベント「サッカーフリーク」を開催
志布志市教育委員会と連携協定締結



本学では広報活動のさらなる活性化を目指して、令和3年度から「N I F S 学生広報スタッフ」として学生にも大学広報に参加してもらっています。同スタッフの芹川晃希さん（大学院修士課程2年、陸上競技部、

鹿屋体育大学）と大橋勇樹さん（スポーツ総合課程3年、硬式野球部、國學院大學北海道短期大学部・北海道）が、KKB鹿児島放送のアプリ「K A P L I」の特別番組に出演させてもらいため、8月6日に鹿児島市与次



8月21日、本学で「令和7年度国立大学法人鹿児島大学と垂水市との連携協議会」が開催されました。本協議会は、相互の人的・知識的資源の交流・活用を図り、緊密な連携・協力関係の構築を目的とした連携協定に基づき、毎年度実施されています。

協議会の冒頭で、金久博昭学長より「連携も9年目を迎え、今後はより一層内容のある形で連携を深めていきたい」との挨拶がありました。続いで、坂元浩人副市長から

7月1日付けで鹿児島大学から経営戦略課会計室予算算定係に配属となりました芝原と申します。

大学職員として勤務を始めて20年が経ち、その大半を会計業務に携わってまいりました。これまで培ってきた知識と経験を生かし、本学の教育・研究活動の円滑な運営に貢献できるよう努めてまいります。

新たな環境の中で、学び直す姿勢を忘れず、学生や教職員の皆様とともに歩んでいければと考えています。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

は、保健福祉分野や現場などにおける本学との連携に対する感謝の言ともに「本学との連携が地域づくりや地域活性化を推進し、市民の健康増進につながることを期待している」との尾脇雅弥市長挨拶の代読がありました。



「視覚」「触覚」が「記憶」に残る
SUGO HAKU  **-KIRAMEKI-** 
【厚盛デジタル加飾システム】  視覚と触覚で
感じる

ヒューマン印刷に倣する
株式会社新生社印刷 鹿児島県鹿屋市札元1丁目22-34
☎0994-43-2238
URL <http://www.shinssei.co.jp> E-MAIL ken@shinssei.co.jp



